

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂におきまして、第百三十五期幹部予定者課程卒業式、並びに第八十四期公募幹部課程修業式が厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程を卒業される皆様、並びに公募幹部課程を修業される皆様、本日は誠におめでとうございます。

そして、渡邊学校長を始めとする、学校関係者の皆様におかれましては、立派に成長された自衛官が江田島の地を巣立つ姿に、感慨もひとしおのことと、お察しいたします。

本日、卒業される皆様方におかれましては、「海上自衛隊の教育の聖地」で学ばれたことを誇りとし、「心・技・体」を兼ね備えた立派な自衛官として、活躍されることを心より願っております。この伝統ある江田島の地で培われた知識や技術、そして厳しい訓練を仲間とともに乗り越えた経験は、これからの皆様の人生において大きな力となることでしょう。江田島を第二の故郷として心に刻み、苦楽を共にした仲間とともに、いつかまた訪れていただければ幸いです。再び皆様とお目にかかれる日を、心より楽しみにしております。

さて、明岳前市長は、常々、江田島市と海上自衛隊の皆様との関係について、共存共栄・一体不可分を目指し、相思相愛の関係を保ち続けたいと申しておりました。その言葉には、明治二十一年、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし今日に至るまでの長い歴史の中で育まれてきた江田島市と海上自衛隊の絆に対する深い敬意と、さらなる発展への期待が込められていたものでございます。

私もその理念を受け継ぎ、海上自衛隊の皆様とのこれまでの良好な関係をさらに強固なものとし、地域の発展と安全保障の両面において、ともに協力し合える友好な関係を築いてまいりたいと考えております。これからも皆様と力を合わせ、江田島市と海上自衛隊のさらなる発展を目指して尽力してまいります。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和六年十二月十八日

江田島市長 土 手 三 生